



一〇九期研究員の研究紹介 所長 儀間 稔

明けましておめでとうございませう。平成三十年・戌年がスタートしました。

戌年の特徴のひとつとして、「勤勉・努力」があるそうです。教育研究所も、教育に関する調査・研究、先生方の研修、ICT教育の推進・保守等の業務に勤勉に努力して取り組んでまいります。今年も教育研究所事業等への御理解、御協力をよろしく願います。

さて、後期研究員（一〇九期）も残り半期になり、検証授業の終了した研究員は、検証結果のまとめに取りかかっております。三月には、各学校の先生方へ授業改善の参考になるような研究発表ができるかと確信しております。

一〇九期研究員の研究は、次のとおりです。

美差礼子研究員（上山中学校）

【研究テーマ】

理科の見方・考え方を働かせ、探究する生徒の育成

↳ 仮説とつながりをもった探究する学習過程を通して

【研究目標】

理科の見方・考え方を働かせ、探究する生徒を育成するために、根拠のある仮説を基に「つながり」をもって探究する学習過程を通して、その手立ての有効性について検証する。

古波津美香研究員（城西小学校）

【研究テーマ】

低学年における「関数的な見方」の素地を育む指導の工夫

↳ 関数的な問題提示の工夫と思考したことを表現する活動を通して

【研究目標】

低学年の「関数的な見方」の素地を育むために問題提示の工夫と思考したことを表す活動の有効性を研究する。

長元智研究員（識名小学校）

【研究テーマ】

説明的な文章における論理的思考の育成を目指して

↳ 「書くこと名人」を取り入れた意見文を書く活動を通して

【研究目標】

国語科における論理的思考力の育成を目指し、説明的な文章の学習における「書くこと手引き」を取り入れた書く活動及び交流活動の工夫の有効性を明らかにする。

安里かな子研究員（泊幼稚園）

【研究テーマ】

自ら考えたり、工夫する楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫

↳ 友達との関わりや活動を通して

【研究目標】

友達とのかかわりや活動をとおして、自ら考えたり、工夫する楽しさを味わう環境構成と教師の援助の工夫について実践研究する。

1月の教育研究所事業予定

- 18日（木）第14回 初任者研修【特別支援学校見学】
- 26日（金）中間検討会Ⅱ
- 31日（水）第4回 情報教育担当者研修会

新刊のお知らせ

書名	著者
平成29年版 小学校 新学習指導要領の展開 総則編	無藤隆 編著
平成29年版 小学校 新学習指導要領の展開 国語編	水戸部修三 編著
平成29年版 小学校 新学習指導要領の展開 理科編	塚田昭一 他 編著
平成29年版 小学校 新学習指導要領の展開 生活編	木村吉彦 編著
平成29年版 小学校 新学習指導要領の展開 総合的な学習編	田村学 編著
平成29年版 小学校 新学習指導要領の展開 特別活動編	杉田洋 編著
平成29年版 小学校 新学習指導要領の展開 算数編	斎藤一弥 編著
平成29年版 中学校 新学習指導要領の展開 国語編	富山哲也 編著
平成29年版 中学校 新学習指導要領の展開 社会編	原田智仁 編著

109期研究員・検証授業



長元智研究員（識名小）

論理的思考の育成のため、児童同士が互いの推薦文の良さ（文構成や内容等）を見つけ、交流し合っていました。

古波津美香研究員（城西小）

「関数的な見方」を育てるため、「ひきさん2」でひく数を固定した時の、ひかれる数と答えのきまりを見つけていきました。



美差礼子研究員（上山中）

探究する態度の育成のため、仮説、実験検証、考察を行う中で、結果と仮説をつなげて考察する活動を設定しました。

※安里かな子研究員（泊幼）の検証保育は1月11日予定です。